

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度第2回野外体験教室運営協議会				
事務局 (担当課)		相模川自然の村野外体験教室 電話042-760-5445(直通)				
開催日時		平成31年1月24日(木)14時00分~16時30分				
開催場所		相模川自然の村野外体験教室 3階 応接室				
出席者	委員	9人(別紙のとおり)				
	その他	無				
	事務局	5人(宮坂所長 他4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		体験活動見学(鶴園小学校) 所長挨拶 議題 1 平成30年度事業報告等について (1) 利用状況について (2) 活動状況について(学校利用・主催事業等) (3) アンケートの結果から 2 平成31年度事業計画等について (1) 運営方針について (2) 利用計画について (3) 主催事業、地域連携、他課との連携計画について 3 協議・意見交換 4 その他				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 平成30年度事業報告等について

#### (1) 利用状況について

資料の2ページから3ページにより説明

質疑なし

#### (2) 活動状況について

資料の4ページから10ページにより説明

やませみの活動メニューに「杉っ葉拾い」とあるが、野外炊事の様子を見ると、子ども達は火を着けるのに薪の大きさや丸めた新聞紙の置き方などが分からないようである。マッチの使い方もわからないのでは。

今の子ども達は火を扱う機会が少ないため、火おこしについても丁寧に指導していきます。

やませみでは、杉の葉で火をおこしていますが、前の学校が拾ったものを次の学校が使っています。

若あゆの「裏山探検」や、やませみの「山あそび」遊びでヒルの被害はないか。

若あゆの裏山はスポーツ担当が毎月点検していますが、現在のところヒルは確認しておりません。

やませみの「山あそび」については、昨年の台風の被害により活動がありませんでしたが、沢井・佐野川エリアではヒルの被害は確認されていません。

今年の学校の活動で怪我や急病はなかったか。

若あゆでは、刃物による怪我やマウンテンバイクの活動中の骨折、青少年団体の熱中症による救急搬送がありました。

やませみでは、野外炊事で収穫したサツマイモを切る際に、指を怪我した例などがありましたが、大きな事故はありませんでした。

怪我などは大人が目があれば防ぐことができるため、マウンテンバイクなどは複数の活動協力者に指導をお願いし、多くの目で見いただいています。

主催事業の応募者に地域性はあるのか。

若あゆは、旧相模原市域の方からの応募が多めとなっています。

やませみは、南区の方からの応募が多めとなっています。薪割りなどになじみの薄い環境だった家庭が多いからでないかと思われます。

小学生の応募は低学年が多いのか。

やませみでは、中学生は少ないですが、小学生は学年の偏りはなく応募いただいています。

やませみ自然体験スクールは毎回キャンセルが出るので、多めに当選を出しても良いのではないか。

毎回10名程度多めに当選を出していますが、インフルエンザによる不参加

などがあるため、当日の参加者数が読めない状況です。

いつ頃から申し込みを受付しているのか。

開催2ヶ月前の広報に募集記事を掲載しています。

若あゆでも、主催事業を行う際は全員参加しても対応できる範囲で、多めに当選を出しています。

当選者には、早めにキャンセルすれば落選者が参加できる旨を説明していますが、開催直前のキャンセルの場合、落選者も既に他の予定が入っていたりして参加が難しいようです。

抽選はランダムに行っているのか。乳幼児などがいると参加が難しいのではないかな。

保育士を配置し、未就学児がいる家庭向けに保育を行っています。

初任者研修は、任意ではなく全員参加か。常勤のみか。

全員参加で、常勤の教員が対象となっています。

「チャレンジ やませみ！」の参加者が52名と多くて驚いている。

小・中学生の保護者を含めて52名が参加しました。

「チャレンジ やませみ！」に参加した子ども達は、夏休み後にどのように変化したのか。

やませみのスタッフは当日のみの関わりだったため、夏休み後の変化は把握していませんが、当日は薪割りを行った後など、達成した時の表情に変化が伺えました。

幼稚園等新任教員研修の所管が保育課となっているが、相模原市では幼稚園は教育委員会ではなく保育課が所管しているのか。

研修については、保育課が担当して実施しています。

### (3) アンケートの結果から

資料の11ページから25ページにより説明

欠席委員より事前にご連絡いただいた3件のご意見を事務局から紹介

基本的には学校アンケートの内容も良好であり、指導主事の頑張りが伺える。

「活動を盛り込みすぎてゆとりがなかった」といった反省が見受けられる。5年生を担当するのは若い担任が多いので、指導主事が積極的に助言をしたほうがよい。

「五平餅」の活動時に指導者の指導内容に違いがあったのは子どもを迷わしてしまい良くない。しっかりと事前打合せをしたほうがよい。

若あゆ、やませみともに、先生方の希望を多く盛り込む傾向があるため、指導主事が過去の例からゆとりのあるプログラムを提案していますが、先生方の思いとの折り合いもあり、盛り込みすぎたという反省が多くなっています。先生方に対してより適切なアドバイスを行うよう努めてまいります。

五平餅の件は反省すべき点であり、一貫した指導を行うようスタッフで打合せを行ってまいります。

やませみのプログラムは開所当初に比べゆとりがあるように感じるが、まだ盛り込みすぎているのか。

活動を終えるごとに振り返りの時間がとれることで、余裕が出てきていると感じています。そのような方向で指導主事からアドバイスしてまいります。中学校の立場では、2泊から1泊の利用も可能となったが、例年踏襲の活動ありきの日程となっている。子ども達がどのような姿になることが良いかを考えて行事を組んでいきたい。先生の思いを大切にしながら、軌道修正するか学校としても考えないとならない。

各学校の若あゆ、やませみ担当の先生は毎年持ち上がりで変わると思うが、学校内で毎年の活動内容が引き継がれているのか。あるいは、毎年、学校の担当者や指導主事が活動内容を一から活動を作り上げるのか。

指導主事が前年の状況を確認した上で学校と打合せをしています。アンケート結果は全体的に見ると良好だが、「あえて言えば」というものが課題として出てきているようである。

このようなご意見が大変貴重であると考えており、一つずつ対応してまいります。

若あゆでは、青少年団体の食事、施設に対する課題が出てきている。

食事では、野菜やおかわりについてご意見が多い状況です。施設面では、照明が暗いというご意見が出ています。一番の課題は、ふれあいホールの冷房と捉えています。

若あゆの昼食のうどんは、作りおきではなく温かいものを提供願いたい。

ご意見として承り、レストランを運営している指定管理者にお伝えします。7月下旬にやませみで貸切利用があるが、夏休みに入った直後の良い時期なので、他の団体も利用できるようにすべきではないか。

貸切利用にするだけでなく、他の団体との交流なども行えば良いのではないかと。

良い活動なので、野外体験教室の事業報告に掲載しても良いのではないかと。

被災地の子ども達の保養のため、市として規則に基づく要綱を整備し、施設を利用していただいています。

震災後の子ども達の保養のため、これまで若あゆ・やませみで受け入れをしてきました。今後につきましては、子ども達の状況も踏まえ、検討してまいります。

## 2 平成31年度事業計画等について

### (1) 運営方針について

資料の26ページにより説明

利用者の年齢に制限はなくなったのか。

少子化などにより野外体験教室の利用対象を見直すことが将来的にあ

るかも知れませんが、条例で定める小中学校の利用、青少年団体の利用について、現在のところ変更はしていません。

利用対象を拡大すれば、使用料が増え、それに伴い若あゆの冷房設置の費用が捻出できるのではないか。

野外体験教室を運営する予算は、市の予算で運営しており、利用者にお支払いただいている施設使用料も充当していますが、予算全体からすると割合としては少なくなっております。従って、冷房設置の費用に充当するまでの使用料収入の確保は難しい状況です。

教育施設であり、スポーツの学生団体が使うとなると、設置の趣旨が変わってくるが、現状でも教育に関わる学生ボランティアの活用などができないかと考えている。

現在も20歳以上の大学生が指導者、引率者の立場にある団体に利用いただいている例があります。

学生の天文サークルが若あゆで指導を受けたり、利用者に対してボランティアで指導したりすることができないかと考えている。大学への声かけはどのような方法で可能か。

大学生に対する活動協力者の周知として、さがみ風っ子教師塾などでおこなっています。

#### (2) 利用計画について

資料の27ページから28ページにより説明

利用なしの中学校が増えると施設の存在価値が問われることになるので、来られない学校の事情を把握し、対応をお願いしたい。

平成31年度に若あゆ、やませみを利用しない中学校では、平和教育や修学旅行に向けて、地域から離れた場所での活動を計画していると伺っています。再度、若あゆ・やませみの魅力を発信し、日帰りの利用も促していきたいと考えています。

中学校でしかできない活動を提案してはどうか。

中学校に特化した活動について、検討しております。

#### (3) 主催事業、地域連携、他課との連携計画について

資料の29ページから30ページにより説明し、さがみはらネットワークシステムの更新に伴い、平成31年9月利用分から青少年団体の利用承認申請手続きに一部変更が生じることを口頭で説明した。

申請方法の変更は混乱のないよう対応をお願いしたい。

広報等で周知を行ってまいります。

### 3 協議・意見交換

若あゆとやませみの連携は素晴らしい。今年度、やませみの自然の染物の材料として、若あゆからマリーゴールドを提供していただいた。今後もしっかりと

連携を図っていただきたい。

#### 4 その他

事務局より現在の委員の委嘱期間が本年4月末までとなっており、5月以降の次期委員の委嘱に向け、公募委員の公募手続きや各団体等への推薦依頼を行うことを報告した。

## 野外体験教室運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	福井 智紀	麻布大学	会長	出席
2	久保田 康隆	鶴の台小学校		欠席
3	馬場 尚子	上鶴間中学校		出席
4	福田 豊	相模原市子供会育成連絡協議会		出席
5	高橋 由美子	相模原市少年鼓笛バンド連盟		出席
6	中里 良治	下大島地区ふれあい農業組合		出席
7	海野 康子	活動協力者		出席
8	中里 健	大島観光協会	副会長	欠席
9	大澤 芳雄	活動協力者		出席
10	鈴木 洋子	公募委員		出席
11	瀬間 一美	公募委員		出席